

「この1冊が、わたしを変える。」大人気のライト文芸レーベル スタート出版文庫新刊 7月28日（金）全国書店にて発売開始！

小説投稿サイト「野いちご」「Berry's Cafe」「ノペマ！」を運営するスタート出版株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：菊地修一）は「スタート出版文庫」の新刊を、7月28日（水）より全国書店にて発売開始いたします。

■スタート出版文庫新刊情報>> <https://novema.jp/bookstore/starts/202307>

■『ノペマ！』 <https://novema.jp/> ■『野いちご』 <https://www.no-ichigo.jp/> ■『Berry's Cafe』 <https://www.berrys-cafe.jp/>



『365日、君をずっと思うから。』

春瀬恋（はるせれん）／著
イラスト／久我山ぼん（くがやまぼん）
税込715円（本体650円+税10%）
ISBN：978-4-8137-1459-0

【あらすじ】過去のトラウマから友達もおらず、家族ともあまりうまくいっていない高2の小暮花。孤独と共に生きていた彼女はある春の日、綺麗な顔立ちのモテ男子・向坂蓮と出会う。「俺、未来から来たんだよ」——不思議な言葉を残していった彼と再会したのは、なんと花の通う高校。しかも蓮は、花のことをよく知っている様子。キラキラしていて自分とは正反対の世界にいるはずの彼なのに、なぜかいつも味方でいようとしてくれて…？タイトルの意味を知った時、きつと感動が押し寄せる。青春×恋愛ストーリー！



『無能令嬢の契約結婚 ～運命を繋ぐ証～』

香月文香（こうづきあやか）／著
イラスト／新井テル子（あらいてるこ）
税込715円（本体650円+税10%）
ISBN：978-4-8137-1460-6

【あらすじ】異能が尊ばれる日本の自治州・至間国に、異能が使えない「無能」として生まれた櫻子は、最強の異能使いの冷徹軍人・静馬のもとに嫁ぐ。櫻子の無能ゆえのある能力を必要としたただの契約結婚だったはずが…静馬から惜しめない愛をもらい、虐げられてきた櫻子は初めての幸せを感じていた。そんな中、演奏会に参加した櫻子のもとに静馬の旧友で陸軍情報部の三峰が現れる。彼は「もし俺がお前を静馬から奪ったらどうする？」と“洗脳”の異能とともに櫻子に迫り——。ふたりの唯一無二の運命が試される、溺愛婚姻譚第2弾！



『鬼の花嫁 新婚編三』 ～消えたあやかしの本能～

クレハ／著、イラスト／白谷ゆう(しろやゆう)
税込660円(本体600円+税10%)
ISBN: 978-4-8137-1461-3

【あらすじ】新婚旅行を終え、玲夜の隣で眠りについたらはずの柚子。でも目覚めたときには横に玲夜はおらず、まったく違う場所にいた。『私の神子——』と声が聞こえ現れたのは、銀糸のような長い髪の美しい神だった。突然目覚めた神に、消えた神器を探すよう告げられ、柚子は玲夜とともに奔走するけれど…!?それはあやかしの溺愛本能を消す代物だった。「たとえ、本能をなくしても俺の花嫁はお前だけだ」文庫版限定の特別番外編・猫又の花嫁恋人編収録。あやかしと人間の和風恋愛ファンタジー新婚編第3弾！

『夜が明けたら、いちばんに君に 会いに行く～Another Stories～』

汐見夏衛(しおみなつえ)／著、イラスト／ナナカワ
税込638円(本体580円+税10%)
ISBN: 978-4-8137-1462-0

【あらすじ】『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』の登場人物たちが繋ぐ、青春群像劇。茜のいちばん仲良しな友達・橘沙耶香、青磁の美術部の後輩・望月遠子、不登校に悩む茜の兄・丹羽周也、茜の異父妹・丹羽玲奈…それぞれが葛藤する姿やそれぞれから見た青磁、茜のふたりの姿が垣間見える物語。優等生を演じていた茜×はっきり気持ちを言う青磁の数年後の世界では、変わらず互いを想う姿に再び涙があふれる——。「一緒にいても思っていることは言葉にして伝えなきゃ。ずっと一緒に——」感動の連作短編小説。



『君がくれた青空に、 この声を届けたい』

茉白いと(ましろいと)／著、イラスト／あんよ
税込671円(本体610円+税10%)
ISBN: 978-4-8137-1463-7

【あらすじ】周りを気にし、本音を隠す瑠奈は、ネット上に溢れる他人の「正しい言葉」通りにいつも生きようとしていた。しかし、ある日、瑠奈は友達との人間関係のストレスで自分の意志では声を発せなくなる。代わりに何かに操られるようにネット上の言葉だけを勝手に話してしまうように。最初は戸惑う瑠奈だが、誰かの正しい言葉で話すことで、人間関係は円滑になり、このまま自分の意見は言わなくていいと思い始める。しかし、幼馴染の紘だけは納得のいかない様子で、「本当のお前の声が聞きたい」と瑠奈自身を肯定してくれ——。

